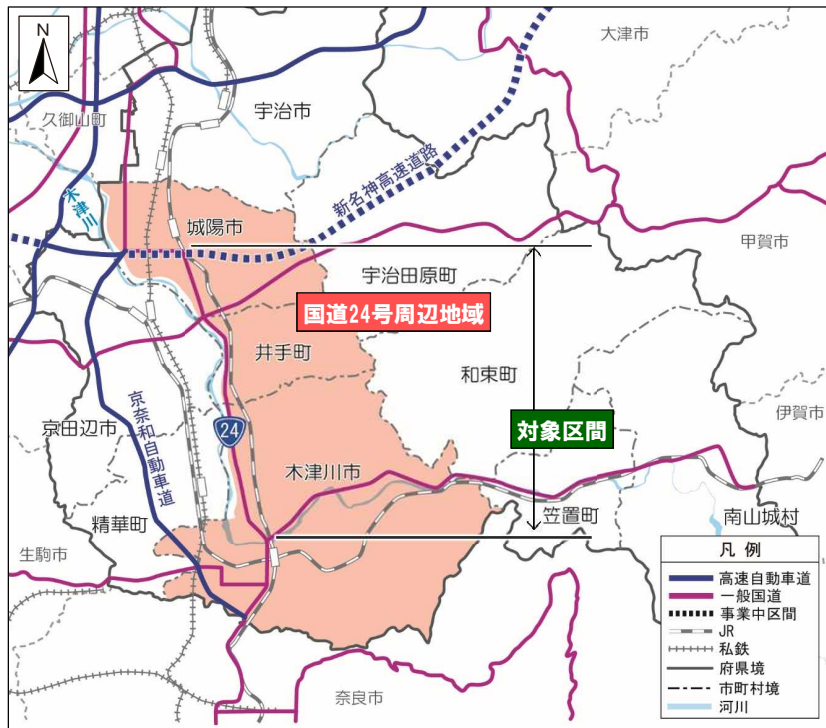


国道24号 城陽～木津川の 道路計画に関するアンケート調査

現在、計画の検討を進めています

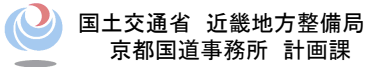
公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、アンケート調査を実施しています。このアンケートは、京都府南部(城陽市・井手町・木津川市)の道路計画について周辺地域の皆さまにご意見を伺うものです。前回(第1回)では、地域の皆さまが日頃感じている地域や道路の現状と課題について、ご意見をお伺いしており、今回(第2回)では、地域の課題を解決するための対策案についてお伺いします。

ご多様の中、恐れ入りますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



お問い合わせ先

■調査実施主体



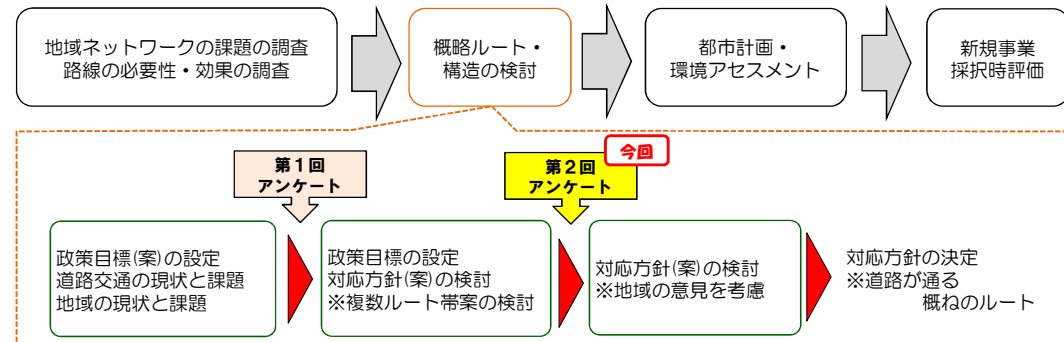
〒600-8234 京都市下京区西洞院通塩小路下
南不動堂町808
電話:075-351-3300(代表)

■調査協力自治体

城陽市役所 東部丘陵整備課
井手町役場 建設課
木津川市役所 指導検査課

電話:0774-56-4028(直通)
電話:0774-82-6167(直通)
電話:0774-75-1224(直通)

皆さまのご意見をお聞かせください



地域の意見聴取の回答方法、実施期間

- 回答は同封された回答用の郵便はがきにご記入ください。
また、インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。
国道24号 城陽～木津川の道路計画に関するアンケート調査 Web回答用のページ
URL : <http://www.kyoto-naruto.go.jp/road24>
- 回答用の郵便はがきは、お近くのポストへ 平成29年●月●日(●) までに投かんをお願いします。
※1回目を回答していただけていない方でも回答できます。

回答用の郵便はがきの記入例

(表面)		(裏面)	
<p>郵便はがき</p> <p>〒600-8234 京都市下京区西洞院通塩小路下南不動堂町808</p> <p>国土交通省近畿地方整備局 京都国道事務所 計画課 行</p>		<p>問3-1 ルート帯案を検討する際の、道路の重視すべき機能(チェック2つ)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4</p>	
<p>問3-2 新たな道路の計画にあたって、配慮すべき内容(チェック2つ)</p> <p><input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5</p>		<p>問3-3 配慮すべき事項</p> <p>歩行者も自転車も安全に通れる道路をつくらせて欲しい。</p>	
<p>問1 ①主な利用目的について(単一回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 その他: _____</p>		<p>問4 あなた自身についてお聞かせください(単一回答)</p> <p>①性別 <input checked="" type="checkbox"/> 1 男性 <input type="checkbox"/> 2 女性</p> <p>②年齢 <input checked="" type="checkbox"/> 10歳代 <input type="checkbox"/> 20歳代 <input type="checkbox"/> 30歳代 <input type="checkbox"/> 40歳代 <input type="checkbox"/> 50歳代 <input type="checkbox"/> 60歳代 <input type="checkbox"/> 70歳代以上</p>	
<p>問2-1 お示したルート帯案について(単一回答)</p> <p><input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5</p>		<p>問5 ご意見・ご要望</p> <p>工事渋滞が起これないようにして欲しい。</p>	
<p>問2-2 効果的だと思わない理由</p>			

- **単一回答**の設問は、あてはまる番号を**1つだけ**チェック(☑)してください。
- **自由回答**の設問やその他の選択肢をチェックした場合は、具体的な内容を回答してください。

今回の調査は、国道24号 城陽～木津川周辺の地域(城陽市・井手町・木津川市)にお住まいの方々や事業所を対象とさせていただきます。調査結果は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。

【住民の皆さまへの意見聴取】

○調査概要

地域の意見聴取は、広報誌による配布・留置き・Webの3種類の方法で平成29年2月20日～3月15日に実施しました。

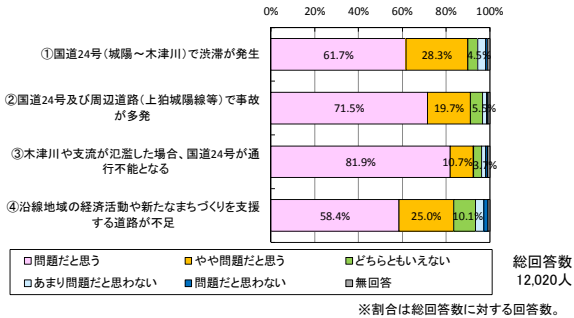
広報誌による配布では、城陽市、井手町、木津川市すべての世帯に配布しました。留置きでは、市役所や役場への調査票を配置したり、Webでは、京都国道・京都府・3市町(城陽市、井手町、木津川市)のホームページで回答できるようにし、様々な方から回答をいただきました。

配布方法	配布・回収数		
	配布数	回収数	合計回収数
広報誌による配布	61,746部	11,517部	12,020部
留置き	—	294部	
Web	—	209部	

○地域の課題

地域の課題について、住民の皆さまから意見を頂き、確認しました。

道路交通に関する4項目について

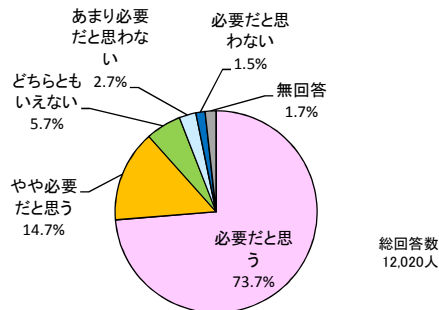


その他の課題

- ・国道24号の渋滞により、抜け道としての府道・市道に交通が集まり、非常に危険である。
- ・国道24号が渋滞することで、周辺道路、特に狭い住宅道路への車両進入が多発し、事故の原因となっている。
- ・災害時に避難道路の確保が不十分である。
- ・南北の道路が足りないため、経済活動に負の影響を与えている。など

○道路整備の必要性

道路整備の必要性について、住民の皆さまから意見を頂き、確認しました。



【事業者の皆さまへの意見聴取】

○調査概要

アンケート

事業者の皆さまへの意見聴取は、平成29年2月20日～3月15日に広報誌での配布・郵送配布方式で実施しました。

対象	回収数
城陽市	734社
井手町	44社
木津川市	603社
その他	53社
無回答	140社
合計	1,574社

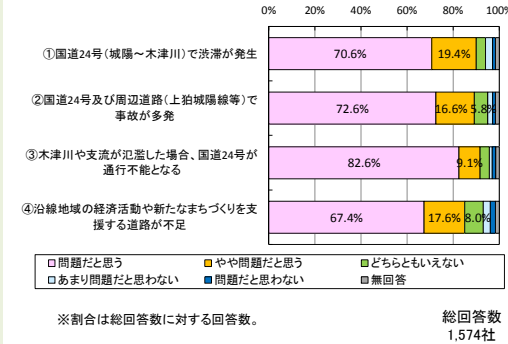
ヒアリング

京都南部地域の事業者の皆さんへの直接訪問し、意見をお聞きしました。

対象		実施状況
事業者	自治体	4社
	経済団体	3社
	観光協会	2社
	輸送機関	2社
	トラック協会	1社
	農業協同組合	5社
	警察機関	3社
	消防機関	3社
	医療機関	1社
	計	24社

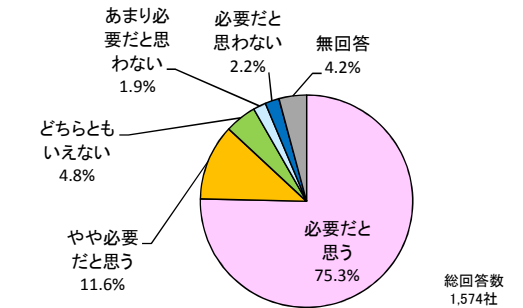
○地域の課題

地域の課題について、事業者の皆さまから意見を頂き、確認しました。



○道路整備の必要性

道路整備の必要性について、事業者の皆さまから意見を頂き、確認しました。



まとめ 地域の課題や道路整備の必要性についてとりまとめました

- ・第1回地域の意見聴取で提示した政策目標は、地域が感じている国道24号の主な課題を網羅している。
- ・地域住民・道路利用者、事業者の多くが、道路整備の必要性を感じている。

《必要とされる道路整備》

「国道24号周辺地域の政策目標を達成するための機能」を有するルート帯案を検討

国道24号（城陽～木津川間）における課題解決のための目標を定めました。

国道24号(城陽～木津川)において、地域や道路という観点から課題の整理を行い、地域の皆さまからのご意見を整理した上で、課題を解決するための政策目標を以下のとおり定めました。

課題① 災害時に脆弱な道路ネットワーク

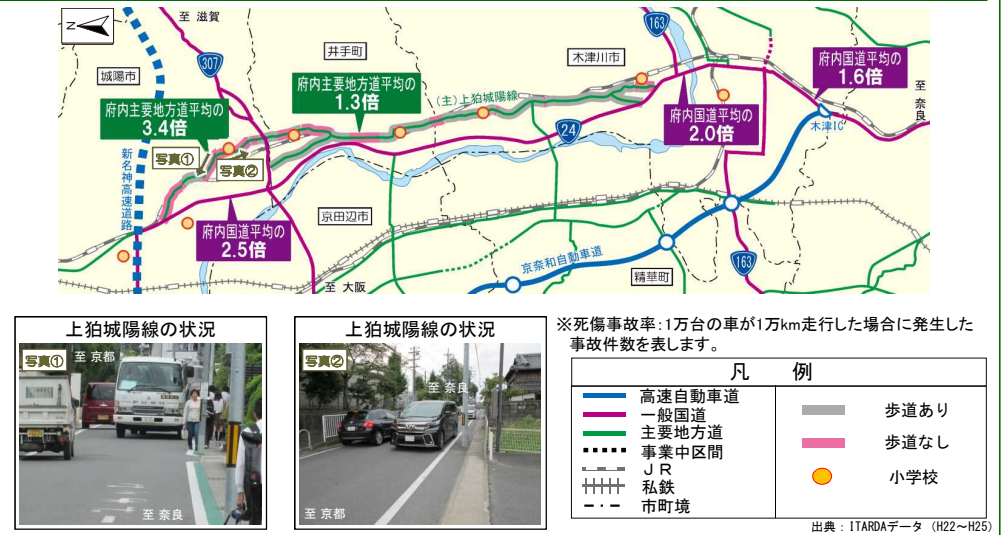
防災拠点をつなぐ右岸地域で唯一の緊急輸送道路である国道24号は、木津川や支流が氾濫した場合、浸水し通行不能となる可能性があります。また、沿線地域の居住者の7割が浸水想定区域内に住んでいるため、災害時における安全性の確保が課題となっています。



政策目標①：災害時に強い道路ネットワークの確保

課題③ 国道24号および周辺道路における交通事故の発生確率が高い

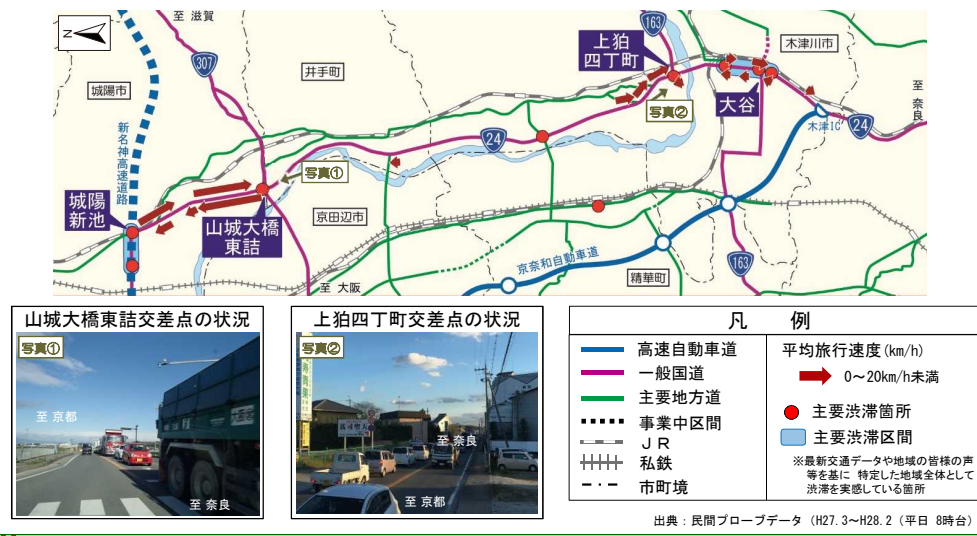
国道24号の死傷事故率は、京都府内国道平均の最大2.5倍（混雑に起因する追突事故が要因）となっています。また、国道24号 城陽～木津川の渋滞をう回する車が周辺道路（上粕城陽線等）に進入し、歩行者との接触事故の危険性があります。



政策目標③：交通安全の確保

課題② 国道24号における渋滞の発生

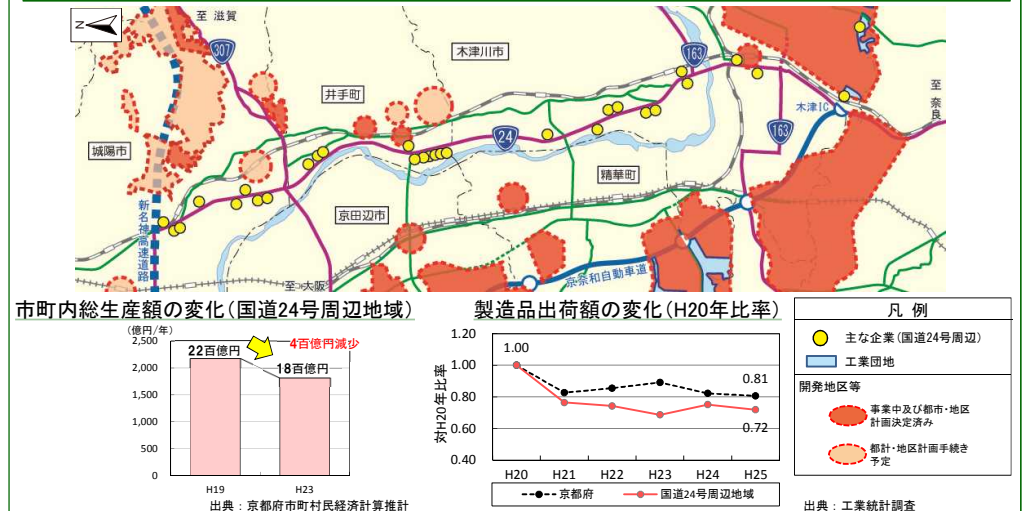
国道24号は、城陽新池～山城大橋東詰交差点間、上粕四丁町～大谷交差点間で渋滞が発生し、利便性が低下しています。



政策目標②：渋滞の緩和

課題④ 経済活動や新たなまちづくりを支える道路が少ない

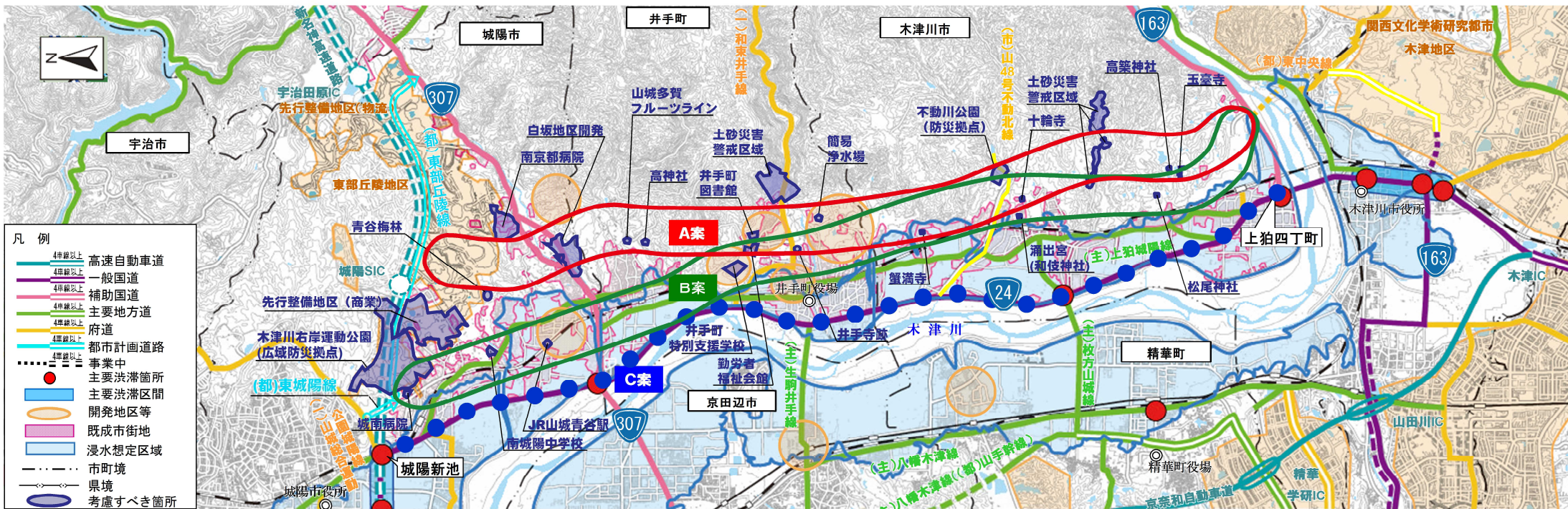
国道24号の周辺地域の市内総生産額や製造品出荷額は減少傾向にあります。主な道路は国道24号と上粕城陽線しかなく、地域経済の活性化や新たなまちづくりを支援する道路が少ないことが課題となっています。



政策目標④：地域振興を支援する道路ネットワークの強化

宇治木津線（城陽～木津川間）のルート帯の案

国道24号 城陽～木津川周辺地域について、政策目標を達成するための機能を有する道路として、検討区間のルート帯(500m帯)案を作成しました。



評価軸	A案 山裾ルート	B案 市街地ルート	C案 現道拡幅ルート	
項目	各開発地区(計画含む)間や防災拠点を連結して、山裾を通過することで既成市街地からのアクセスも確保し、バイパスにより交通容量を拡大する案。	家屋集積地を避けながら出来るだけ既成市街地の近傍を通過し、バイパスにより交通容量を拡大する案。	現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案。	
断面図	新規路線(2車線)	新規路線(2車線)	現道拡幅(4車線)	
政策目標	災害時に強い道路ネットワークの確保	・浸水想定区域を通過する区間が多いが、高架等で回避する為、氾濫の影響を受けにくい。 ・防災拠点(不動川公園等)へのアクセス性が向上する。	・氾濫時に代替路が確保されず、集落が孤立する恐れがある。 ・防災拠点(不動川公園等)へのアクセス性は変わらない。	
	渋滞の緩和	・現道24号の交通量が低減でき、渋滞の緩和が期待できる。	・現道24号の交通量が低減でき、渋滞の緩和が期待できる。	・拡幅により処理できる交通量が増加し、渋滞の緩和が期待できる。
	交通安全の確保	・現道24号の交通量が減少し、交通事故の低減が期待できる。 ・(主)上狛城陽線の交通量が減少し、生活道路の交通安全性の向上が期待できる。	・現道24号の交通量が減少し、交通事故の低減が期待できる。 ・(主)上狛城陽線の交通量が減少し、生活道路の交通安全性の向上が期待できる。	・拡幅による渋滞緩和及び中央分離帯の設置により、交通事故の低減が最も期待できる。 ・(主)上狛城陽線の交通量が減少し、生活道路の交通安全性の向上が最も期待できる。
その他	地域振興を支援する道路ネットワークの強化	・(都)東部丘陵線及び城陽SIC(仮称)と(都)東中央線を最短距離で結び、東部丘陵地区と関西化学術研究都市木津地区等の沿線のまちづくりを支援する。	・(都)東部丘陵線と(都)東中央線を結び、まちづくりを支援する。	・まちづくりを支援するものの、拡幅により一部沿道企業等に影響を及ぼす。
	生活環境(大気・騒音・地域分断等)への影響	・既成市街地を避け山裾を通過するため、地域分断等の生活環境への懸念が少ない。	・一部既成市街地を通過するため、地域分断等の生活環境への影響が懸念される。	・既成市街地を通過するため、騒音等の生活環境への影響が懸念される。
	自然環境(動物・植物・生態系)への影響	・土工区間が多く、山の掘削や盛土により地形が変わる面積が最も大きいため、自然環境への配慮が必要。	・土工区間が多く、山の掘削や盛土により地形が変わる面積が大きいため、自然環境への配慮が必要。	・現道を導入空間とするため、自然環境への懸念が少ない。
市街地からのアクセス	・既成市街地から離れた位置に計画されアクセス性に劣る。	・既成市街地からのアクセス性に優れる。	・既成市街地からのアクセス性は現状と変わらない。	
移転等が必要な家屋数	約60棟	約180棟	約200棟	
コスト	約230億円	約330億円	約420億円	

※開発地区等：事業中、都市・地区計画決定済み、都市・地区計画手続き予定を含む
 ※浸水想定区域：H29.6.14淀川河川事務所「洪水浸水想定区域図」公表資料を基に作成
 ※考慮すべき箇所：今後のルート帯案の決定を踏まえ、具体的ルートを決定する段階で、地形的・地理的に特に考慮すべき箇所